



千葉労働動向

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄証) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.12.26 No3516

動労千葉結成の理念にたち返り 方向性と羅針盤を持って闘おう!



JR体制打倒! JR総連解体へ
全力で闘いぬく(12月20日、福祉センター)

第26回定期委員会開催 5万人体制粉砕へ 12/20

第二六回定期委員会は、十二月二〇日、千葉県労働者福祉センターにおいて開催され、「フユチャ―21―」JR五万人体制「攻撃、とりわけ「九二・三ダイ改」阻止へ向けた強固な闘いの方針を確認した。

議長に渡辺委員(館山支部)を選出した後、冒頭あいさつに立った中野委員長より、今次ストの視点と九二年への闘いの情勢と基調が提起された。(要旨別掲)

経過・方針等の提起の後、質疑に入り、

- ①千葉運転区・土岐区長のプライバシーの侵害行為は絶対に許せない。反撃の闘いを。(千葉転、勝浦)
- ②乗務員予備勤務者が日常的に日勤勤務にさせられている。基準はどうか。(勝浦)
- ③鴨川駅において、閉そく方式を変更しないで運転をさせた。信楽事故と同じことを指示している。
- ④二交Bを行うにあたり基準数の増をするべきだ。また、年末手当の格差が東と貨物で広がっている。(佐倉)
- ⑤岩瀬恵一君宅が全焼した。義援金の協力をお願いしたい(館山)等が出され、全体で確認し、当面する闘いに全力を挙げて決起することが決定された。

JR全体の労働者が進むべき道を提起できる誇りと自信を持って動労大改革―遠大な夢と未来を切り開こう!

92年の結旗開き
に集まるう!
とき・1月14日(火)13時
ところ・労働者福祉センター
組合員・家族揃って参加しよう!

92年は絶好の好機



中野委員長 発言要旨

分割・民営化五年目にして、政策の根幹がデッドロックに乗り上げた。バブル経済を前提とした株上場、土地の売却はストツプし、整備新幹線のJR買取り政治介入、JRの経営状態は国鉄と同じようになつていく、であるが故に第二の分割・民営化のナタを振るわざるを得ないと判断したのだ。現在起こっているJR総連の分裂も、会社側からの労使関係の大再

編と見なければならぬ。東日本の違うところは、動労総連合が存在しているということだ。合理化攻撃も今までのレベルを大きく踏み越えている。われわれの闘いは、シンボリック的存在である動乗勤改善攻撃と真っ向から対決し、JRで働く労働者に警鐘を乱打した。「三月ダイ改」闘争を中心にして、問題をしっかりと見据え闘おう。

時代は世紀末の様相を呈している。世界も、日本も、JRも何が起ころうともおかしくない時代だ。九二年は、打てば響く年となるであろう。絶好の好機と捉えて時代を切り拓かなければならない。